

SDGs エネルギー学習に関わる教師によるコンテンツの作成公募

② 既存の動画やコンテンツを活用した教材の作成や授業手法の提案

提出日：令和 3年 11月 1日

【提出者詳細】

- 氏 名 ※必須：教育 太郎
- 所属学校 ※必須：東京都立〇〇小学校
- 学校住所 ※必須：東京都立 1丁目1番地1号
- 学校電話番号 ※必須：01-2345-6789
※事務局から質問をする可能性があるため、日中つながる番号を記載
- メールアドレス ※必須：××××@××××.co.jp
- 役職 ※必須：教諭
- 担当教科 ※必須：理科

【提案内容詳細】

- ・既存コンテンツの総称 ※必須

SDGs スゴロク

- ・既存コンテンツを活用した作成教材・授業手法の説明 ※必須
(概要、使用方法、授業での展開方法等)

【概要】(SDGs スゴロク)

エネルギー問題及び SDGs についてのスゴロクを授業で作成。

自身でデザインを考えたり、マスの構成を考えて作成するため、楽しみながら身近なエネルギー問題、持続可能エネルギーについて学ぶ。

【作成教材・使用方法】(SDGs スゴロク拡張キット)

スゴロクを作成した後に追加で遊べる拡張キットを作成。

キット内容

- ・(SDGs) の 17 の目標トークン
- ・SDGs 問題カード

持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標を記載したトークンを作成。

既存のスゴロクのマス上にランダムでトークンを設置し、トークンを設置したマスへ止まると目標に応じた問題カードを引く。

カードに書かれた問題を読み上げ、正解したらもう一度サイコロを振ることができる、という追加ルールを設ける。

【授業での展開方法】

作成したスゴロクで一通り遊んだ後、拡張キットをの作成を用いて、改めて持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標を確認する。各開発目標の問題提起とその問題提起に対してグループディスカッションを行う。最後に授業の総仕上げとして拡張キットを使用してスゴロクで遊び、SDGs に関する問題にクイズ形式で答えていくことで、自発的な学びと定着を図る。

また、教員側で問題カードの内容をデータ作成し、プリントアウトすることで見本にしたり、カード作成の手間なくスゴロクで遊ぶ工程へ入ることも可能とする。

・作成教材や授業手法の対象学年 ※必須

小学生 1～3 年生

・作成教材や授業手法の対象教科 ※必須 ※複数選択可
(理科 社会 家庭科 技術家庭科 総合的な学習)
その他 ()

・作成教材や授業手法の必要時限数 ※必須

3 時限

- ・作成教材や授業手法の実施可能な生徒数目安 ※任意
(最少人数～最大人数)

約 5 名～約 30 名

- ・作成教材や授業手法が児童、生徒に対してどのような成長や示唆、思考、行動を生むものとなるのか ※必須

実際にスゴロクを遊んだ後、ある程度知識として蓄えたところに原点の開発目標に立ち戻るトークンを追加することで、開発目標に対する問題を具体的に考えさせることができる。また新たな要素として追加することによって、飽きさせず、継続して学びを促すことができる。今後新たに定義される問題なども、問題カードに反映し種類を増やしていき、幅を広げて学ぶことも可能である。

- ・本コンテンツと SDGs との関連性 ※任意

持続可能な開発目標（SDGs）の 17 の目標をトークンとして加えることで、開発目標の内容を再度確認するとともに、現代社会が掲げる持続可能な開発について考える機会を作ることができる。

- ・生徒や教員が「取り組みたい」と思えるようなポイント ※必須

- ・問題提起をクイズ形式にし、可能な限り取り組みやすい形で展開する。
- ・開発目標を確認する際に、ディスカッションの時間を設けることで、ただ聞くだけでなく自発的に取り組む事ができる。

- ・生徒自身がエネルギーについての学びをアウトプットすることで、モチベーション向上や深い理解につながるものとなっているのか ※必須
(はい / いいえ)

- ・他の学校の教員が実施する場合にどのような事前準備が必要か ※任意

- ・持続可能な開発目標（SDGs）の 17 の目標の現在抱える問題と内容の理解
- ・拡張キットの作成見本（質問カード等）
- ・質問カードの参考にできる SDGs に関する資料

- ・エネルギー教育における「4つの視点」のいずれかに立って学び、生徒が自分ごととして未来を考えるものになっているか ※必須 (はい / いいえ)

※はいを選択した場合、下記に詳細を記載 ※任意

SDGsのテーマを総じて学ぶことができるため、総合的な学びへの結びつきが期待できる。また、スゴロクで遊ぶ事前準備として問題提起、ディスカッションを行うため、ただ聞くだけでなく生徒は自身の立場から物事を考察するきっかけを作ることが可能である。

- ・作成教材や授業手法の課題など、その他伝えておくべきこと ※任意

・持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標と問題を考えることが目的のため、スゴロクで遊ぶことがメインととならないよう留意する

【必要経費】

必要経費 ※1件あたりの上限額は50万円 (税抜) ※必須

計：¥15,306 (税込)

※内訳は下記に記載

経費詳細 ※必須

拡張キット作成費用：¥12,510 (税込)

└マルチ多目的カード 10枚×10シート入り 単価：¥417 (税込) (コピー用紙でも代用可)
417×30 ※問題カード100枚用 (17テーマ×5種類+予備15枚) ×1クラス30名
/アスカルで購入

配布用問題カード作成費用：¥2,796 (税込)

└参考教材費

「SDGsのきほん 未来のための17の目標 SDGsってなに? 入門」 単価：¥2,420 (税込)

/書店で購入

└配布用質問カード 単価：¥376 (税込) /アスカルで購入

A4用紙500枚入り1点 (17テーマ×5種類 1種2枚印刷) ×1クラス30名